

平成 30 年度（2018 年度） 1 月 理事会議事録

1. 日時：2019 年 1 月 24 日（木）19：05～21：10
2. 場所：神奈川県作業療法士会事務所
3. 理事会定数
出席理事：錠内・木村・金山・吉本・佐々木・野本・遠藤・名古屋・村越・澤口・
佐藤・大郷
欠席理事：野々垣・奥原・神保・作田
参加監事：田中
その他：池田選挙管理委員長
岩切事務局員・宮沢事務局員・オブザーバー榎本（書記）
4. 議長団選出
議長：錠内会長
副議長：木村副会長
議事録署名人：錠内会長・吉本理事・田中監事
5. 資料の確認
 - (1) 資料 1 各部・委員会提出資料
 - (2) 資料 2 2019 年度予算案
 - (3) 資料 3 事務局 互選方法内規案・後援依頼・積立使用願い・エリア化アンケート
規約委員会 謝金規定
ウェブサイト管理委員会資料
渉外報告
 - (4) 当日配布 地域リハビリテーション部 地域包括ケアシステム三士会合同研修会
学会評議委員会 今後の学会・臨床大会の在り方について
地域包括ケアシステム 神奈川新聞掲載記事
6. 審議事項
 - (1) 重点課題の要旨
 - 1) 事務局
 - (ア) 理事選挙の互選方法について
互選方法や定款の記載内容について再検討し、次回理事会にて報告する。
 - (イ) 総会日程について

日時：2019年5月19日（日）9：30～12：00 場所：かながわ労働プラザ
総会後に臨時理事会を開催予定。

2) 財務部

(ア) 2019年度予算案について

2月の終わりくらいを目途に研修会を行う部署の来年度の収入予測を聴取し、それを踏まえて変更する可能性がある。エリア化推進委員会と神奈川県作業療法士学会実行委員会・臨床作業療法大会実行委員会という枠ができた。内容確認後、修正があれば財務理事へ連絡する。

3) 規約委員会

(ア) 謝金規定の改正

謝金支払基準の備考についての記載内容を修正する。

4) 地域リハビリテーション部

(ア) 地域包括ケアシステム三士会の参加について

三士会合同で行う研修で尚且つ、県や医師会、他団体と関わる研修なので理事や会員の積極的な参加を促す。

(イ) 後援依頼

学童保育×作業療法、地域（子ども）スキルアップ研修会 in 神奈川の後援依頼。
後援にするのであれば県士会で受ける。早急に依頼文書を受け、承認はメールで行う。

5) 学会評議委員会

(ア) 今後の臨床大会の在り方について

2020年の臨床大会は開催方向で考えていくが、運営方法には検討が必要。
理事会欠席理事にも確認した上で野々垣理事へ報告する。

(2) 審議事項の要旨

1) 事務局

(ア) 後援依頼

平成31年3月2日（土）～3日（日）多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会（神奈川県臨床検査技師会主催）の後援依頼について承認された。

(イ) パソコン購入のための積立金使用について

見積書を準備し、再度審議していく。

(ウ) エリア化検討会 代議員へのアンケートについて

代議員へ「県士会と会員に関するアンケート」をメール配信し、ウェブ入力で依頼する予定。

2) ウェブサイト管理委員会

(ア) グループウェア（サイボウズ Live）の継続使用について

継続使用はしない。将来的に会議のオンライン化も検討していく方針。

6. 審議事項（詳細）

（1）事務局

1) 重点課題

（ア）理事選挙の互選方法について

池田選挙管理委員長より説明後、意見交換を行う。誤字 8 条 非推薦者→被推薦者

（イ）意見交換

- ・互選のやり方を選挙ではなくて合議で決めた方が良いのでは。（澤口）
- ・選挙の得票数の報告を伝えるべきではないか。（佐藤）
→得票数については報告していくようにする。会長の方針・質問のやり方については今後検討していく。（池田）
- ・立候補者のアピール方法や運営手段を検討していった方が良い。（名古屋）
- ・内規の大まかな流れは問題ない。運営方法は規定に盛り込まなくても良いが、理事にわかるようにしてほしい（木村）

⇒第 8 条 - 2 無記名単記投票という記載等再検討し、理事会で再検討する。

（イ）総会日程について

日程、会場確認した。

2) 審議事項

（ア）後援依頼

多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会（神奈川県臨床検査技師会主催）

2019 年 3 月 2 日（土）～3 日（日）⇒承認

（イ）パソコン購入のための積立金使用について

事務局のパソコンが壊れてきたため、パソコン 4 台購入のため積立金、非常時積立の使用を検討したい旨を説明後、意見交換を行った。

ア) 意見交換

- ・工事代や処分代も費用に含まれているのか。（名古屋・佐々木）
→含まれている。費用はギリギリになるかもしれない。（金山）
- ・同時に買うと同時に壊れるのでは（澤口）
→今あるパソコンがいつ買ったものが把握できていない現状がある。まとめて買った方が把握しやすいのではと考えている（金山）
- ・書類の名前が非常時積み立て申請書ではよくない。（村越）

⇒パソコンの見積書後再度審議する。金額が増える可能性もある。

（ウ）エリア化検討会 代議員へのアンケートについて

アンケート実施について説明した。アンケートはメール配信し、ウェブ入力で依頼する予定。2 月末までの予定であり、3 月の理事会で報告する。

ア) 意見交換

- ・自由記載 14 の意図は何なのか（名古屋）
→会員個人の考えを聞きたかった。その集合体が県士会の理想像だと考えている。（大郷）
- ・この質問はどこからとってきているのか。（佐々木）
→組織の満足度調査からとってきている。エリアは従来の A か B を検討中。（大郷）
- ・アンケートとる人のキャリア等は記載するのか（村越）
→今のところ考えていない。匿名性にするのでいろいろな意見を集めたい。（大郷）
- ・アンケートの内容がエリア化と関係ないように思える（野本）
→アンケート結果を用いてエリア化の必要性があることを示したいと考えている。
来年度の交流会に繋げていきたい。（大郷）
- ・自由記載で要望がたくさんだと対応できないのでは。（野本）
⇒回答の「どちらともいえない」、自由記載のご要望という文言はなしとする。

3) 報告

(ア) OT 協会より

- ア) 遠隔医療従事者研修 基礎研修の案内 1月27日東京都医師会館
- イ) 平成30年度第3回47都道府県委員会 2月2日～3日TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 2月2日錠内会長 2月3日木村副会長 出席予定

(イ) 神奈川県内の報告

- ア) 茅ヶ崎市 地域ケア個別会議参加について 遠藤毅氏（茅ヶ崎新北陵病院）に依頼

(ウ) 医療職連合会

- ア) 会報が2月22日納品予定 例年通りニュースへの同封を依頼予定
- イ) 総会6月19日（水）18：30～ 労働プラザにて開催予定
19：00～の講演会は吉田勝明氏（県病院協会副会長 横浜相原病院院長）
「認知症について」

- ウ) 次年度の事務局 臨床検査技師会に変更（持ち回り制）

(エ) 関係団体

- ア) 第16回日本うつ病学会の案内 7月5日～6日 徳島県郷土文化会館
- イ) 日本AJS協会 ALS 治験勉強会の案内 2月2日 弘済会館

(オ) その他

- ア) 県内の養成校へ県士会の案内を送付予定
- イ) 県内の養成校へ入学式・卒業式に祝電を送付予定

(2) 財務部

1) 重点課題

- (ア) 2019年度予算案について
- ア) 意見交換

- ・新規 200 人というのはどこから考えているのか。県外に行く人や県外から来る人も考慮しているのか (村越)
→例年の推移から県外に行く人や県外から来る人も考慮し予測している。(吉本)
- ・定年などで退会者が増える可能性もある。(名古屋)
- ・賛助会員会費は 1 社減ったのか。(澤口)
→1 社減って 5 社になっている。もう 1 社未納分の連絡が取れないところがあり、4 社になる可能性もある。(金山)
- ・賛助会員を増やす努力も検討してほしい。(澤口)

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 期末監査について

実施日程：2019 年 4 月 13 日(土)14：30～ 場所：神奈川県作業療法士会 事務局
出席者：8 名 (田中監事、榎澤監事、木村副会長、金山事務局長、事務局員松村氏、
財務部 吉本理事、西村氏、黒木氏)

期末監査の締め切りは 2019 年 4 月 8 日 (月) 必着。各部署への連絡はメールで行っていく。

(3) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) スキルアップ研修事業 (講習会, 今年度予定分)

ア) 手指・上肢運動麻痺への徒手アプローチ

田邊浩文氏 (湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科教授 作業療法士)
2019 年 1 月 20 日 (日) 10:30～16:30 済生会横浜市東部病院 加数：37 名 (終了)

イ) クライシスプラン&リスク管理 (仮)

星竜平氏 (訪問看護ステーションみのり横浜 作業療法士)
武井寛道氏 (藤沢病院 作業療法士)
立山和久氏 (久里浜医療センター 作業療法士)

2019 年 3 月 17 日 (日) 藤沢市民会館 参加数：40 名 (予定)

ウ) 来年度の福利部と学術部との合同企画, 新人オリエンテーション

2020 年 6 月 13 日 (日) 時間は例年通り。イムス国際看護専門学校を予定。

脳血管疾患に対する急性期, 回復期の作業療法士の視点～事例を通じて作業療法士にできることを学ぶ～

石川哲也氏 (済生会神奈川県病院 作業療法士 (予定))

エ) 学術誌刊行事業

3月の刊行に向けて編集作業中である。

オ) 研究助成事業

来年度はマニュアル化策定に動く。

(4) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 研修会開催報告

ア) 現職者共通研修「事例報告と事例研究」水野健氏

2018年12月23日(日) ウィリング横浜 参加者数: 64名

イ) 現職者選択研修「身体障害領域の作業療法」田邊浩文氏・大森みかよ氏・藤本一博氏・西尾香苗氏

2018年12月16日(日) ウィリング横浜 参加者数: 80名

ウ) 事例報告登録制度研修会 奥原孝幸氏

2019年12月23日(日) ウィリング横浜 参加者数: 59名

(イ) 研修会管理システムについての変更に関して

2018年12月26日 OT協会教育部生涯教育委員会よりシステム開発の遅延があつてシステム公開は1年の遅延(2020年4月公開)と連絡あり。

本土会では教育部にて予算化して対応する計画でいるが、士会の対応システム作りや試行もあるので、予算は変更せずに進めていく。

(5) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) ニュース班

2月号(1月末発行)を準備中。次号原稿は2/8(金)〆切となり、予算執行の都合、〆切が早くなっている。

(イ) 対外広報班

ア) 地域リハビリテーションフォーラム

2019年2月2日(土) 横浜市内

内容: 昨年に続き、災害対策に関するシンポジウムを開催。作業療法・災害支援に関する活動報告や情報提供などブース展示を行う。災害対策班とコラボ予定。

イ) 神奈川県介護支援専門員研究大会

2019年2月16日(土) 相模原市内

内容：地域リハビリテーション資源に関する情報提供や相談など

ウ) 小田原リハビリフェスタ

2019年3月24日(日) 小田原市内

内容：地域リハビリテーションや作業療法に関する情報提供、介護相談など

(6) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 求人掲載(2018.12.16~2019.1.8)

新規掲載：12件、変更：1件、削除：4件

(イ) 学術部合同企画 会員交流会について(案)

2019年6月16日(日) IMS 横浜国際看護専門学校(今年度同様)

(7) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題

(ア) 地域包括ケアシステム三士会の参加について

積極的な参加を促す。

(イ) 後援依頼について

岡山県学童保育連絡協議会「学童保育×作業療法、地域(子ども)スキルアップ研修会 in 神奈川」

2019年2月17日(日) 10:00~17:00

参加費：3,000円(県士会員) 非会員：6,000円

内容：学童保育(地域における子どもの生活)と作業療法士連携についてなど

⇒昨年、学童保育連絡協議会の糸山様から県士会と連携を取り協力依頼あり。

ア) 意見交換

・後援は地域リハビリテーション部なのか神奈川県作業療法士会なのか(田中)

→後援という形で受けており、県士会の予算は必要ない。(遠藤)

・後援なのか、共催なのか、どのように依頼がきているのか。(名古屋)

・後援にするのであれば県士会で受ける。早急に承認が必要な内容なので、依頼文書を受け、承認はメールで行う。(木村)

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 研修会について

ア) 地域包括ケアシステム三団体合同研修会

2019年2月24日(日) AP 横浜西口4階(ルームD・E)

講演：神奈川県高齢福祉課、神奈川県医師会講師

イ) 難病リハビリテーション講習会 2018

2019年2月10日(日) ウィリング横浜

(イ) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

ア) 訪問リハ学術集会

2019年1月20日(日) 関内新井ホール 参加118名(内OT39名)

イ) 来年度予算案

三士会長と会議を1月28日(月) PT 県士会事務局で開催予定。

ウ) 介護予防普及展開事業アドバイザー

地域ケア会議の県アドバイザーに遠藤理事が就任。

2018年12月20日秦野市地域ケア会議 アドバイザーとして参加。

2019年1月31日県主催事業報告会 アドバイザーとして参加予定。

2019年2月18日厚労省主催のアドバイザー意見交換会 県アドバイザーとして参加予定。

2019年2月28日小田原市地域ケア会議県主催事業報告会 アドバイザーとして参加予定。

(ウ) その他

ア) 介護予防従事者研修会(県主催)

例年通り、OT 県士会にも協力依頼と金山事務局長が講師。

相模原会場 2019年1月12日(土)13日(日) 麻布大学

横浜会場 2019年2月10日(日)11日(月・祝) 関内新井ホール

イ) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼

遠藤理事が市職員話し合い人選、参加を行っている。

(8) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 福祉用具関連事業班

ア) 福祉用具に関する会員向け研修会

全5回実施。年間44/50名参加。

イ) 福祉用具に関する情報提供、相談支援

ブログの活用 引き続き適宜情報発信

ウ) 他団体からの要請協力：H.C.R(10/10~10/12)「ふくしの相談コーナー」

6名人員派遣済み。OT 協会より派遣依頼にて東京都士会福祉用具部員と協業し79件の相談対応を実施。会期中の様子は OT 協会制度対策部(福祉用具対策委員会)

活動報告として日本作業療法士協会誌 12月号掲載。

エ) 他団体からの要請協力：「かわさき介護いきいきフェア」

広報部から協力依頼があったが活動予算計上しておらず活動費不足のため協力できず、次年度活動計画立案していく。

(イ) 社会保障制度対策班

ア) 自動車運転と OT に関して

ネットワークづくりを目指し、有志メンバーと意見交換会を今期 2 回目を実施。次期の班体制化に向けて人員調整中。

イ) 日本作業療法士協会の情報配信等を県士会ブログへ掲載 12月中4回

(ウ) 災害対策班

ア) OT 協会「災害発生を想定したシミュレーション訓練」

2019年2月8日実施予定。32県参加予定。

今年度もこれに合わせて、安否確認システムテスト運用を実施予定。

OT 協会より昨年度実施状況の報告：参加 20 士会、うち安否確認を実施は 10 士会（士会役員の緊急連絡、ブロック長などの連絡網、会員の安否確認）。

(9) 規約委員会

1) 重点課題

(ア) 謝金規定の改正

4条が二つあり、誤字がある。別表下の数字にも誤字。

別表 謝金支払基準 1時間当たりの支給額 備考欄に「日本作業療法士協会会員については講師基準の該当区分支払額の 5割相当額とする」と記載されている。

ア) 意見交換

- ・備考の記載を「日本作業療法士会会員及び都道府県県士会会員」とした方が良いのでは。これに該当しない人を講師としない方が良いのであればその規定も作らないといけない。(大郷)

⇒変更して総会の議案書に修正を提出する。

2) 審議事項 なし

3) 報告 なし

(10) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

(ア) グループウェア (サイボウズ Live) の継続使用について

2019年4月15日をもってサイボウズ Live 無料版のサービスが終了する。今後継続する場合は有料版となるが、これまでの使用状況を鑑みると有料版へに移行は必要

ないのではないか。オンラインでのやりとりについては、サイボウズ Live の導入前同様、メーリングリストの活用が望ましい。

ア) 意見交換

- ・ GIJI というソフトがチャットもでき、資料の添付もできる。無料版と有料版があるが、無料版でも使えるレベル。新着はアクセスしないとわからない。(吉本)
- ・ WEB 上での会議が今後必要か (大郷)
- ・ 審議事項は基本的には承認。今後はメーリングリストを活用していく。(木村)
- ・ 会議のオンライン化は将来的に検討していくべき。会議費も削減できる。(大郷)

3) 報告

(ア) 各部署のページの更新 (2018 年度版への書き換え) 依頼
更新していない部・委員会は早急に変更する。

(1 1) 学会評議委員会

1) 重点課題

(ア) 今後の臨床大会の在り方について (追加資料)

学会、臨床大会の開催・運営にあたり様々な課題が散見されている。演題が集まらない等の状況から、現状の学会・臨床大会が会員にとって魅力がないものになっているのではないか。今後どのように継続・運営していくのか見直す期間が必要と考える。
以下に課題を列挙する。

ア) 演題発表, 参加者について

- ・ 日本作業療法学会の演題登録期間と重複している。
- ・ 演題募集をしても登録期間内では演題が集まらず、毎回延長している。
- ・ 専門性のある学会が多数あり、県学会に魅力を感じていないのではないか。
- ・ 県学会・臨床大会での発表にメリットを感じていないのではないか。
- ・ テーマ別のミニマムな研修の方が学会より重視される傾向に見える。

イ) 運営 (財政面含む) について

- ・ 当日運営のボランティアを確保しにくい。
これまでボランティアも学会参加費を支払った上で会場運営などを手伝ってもらった形をとっていた。他学会 (団体) ではボランティアの参加費負担はなく、日当などが支払われている場合もある。
ボランティアの参加費負担をなくすことで、学会収入の減少が見込まれる。
- ・ 臨床大会については県士会からの貸付金との関係から、会場確保や運営費に使える予算が少ない。業者への外注コストを下げようとする中で、運営担当者の業務量が増大している。
- ・ 公益性、専門性を持った学会・臨床大会にしたいが、テーマ・運営方法をすべて実行委員会に委ねており、県士会の方向性に合わせた積み上げや継続性がない印象。

- ・学会長と大会長の指名が難しい状況になっている。

ウ) 今後について

- ・学会・大会を継続していくために、時代に合わせた見直しを行いたい。会員向けにアンケート等を実施し、学会・大会の形を考える期間としたい。抜本的な解決策が必要であり、時間が必要。
- ・地域包括ケアの時代になぜ OT だけなのか。職種を超えての学会を考えてもよいのではないか。
- ・発表の場ではなく研修にしたらどうか。テーマをひとつに絞り、県士会の研修会では設定しにくい、全国レベルの著名人に講演してもらおう。
- ・2020 年はオリンピック・パラリンピックへの協力も予測されるため、1 回休止してはどうか

エ) 意見交換

- ・オリンピックの影響はそこまでないのでは？臨床大会はやったほうがいい。(大郷)
 - ・やり方を考えなければいけないがやった方がよい。(澤口)
 - ・2020 年 7 月は会場が貸してもらえない。月をずらすか会場を遠くすることも考えなければいけない。(村越)
 - ・開催場所を養成校の持ち回りにすることはどうか(佐々木)
 - ・県士会と学校はあくまで違う法人であり、県士会にそれを決める権利はない。(名古屋)
 - ・やらない理由の一つとして、大会 1 年以上前には決める必要がある大会長の選任が困難になっていることがある。(金山)
 - ・大会長に仕事が丸投げになっていて、負担が大きいのではないか(佐々木)
 - ・大会長の負担を減らすため、会場を統一するなどの工夫を考えた方がよい(澤口)
- ⇒2020 年臨床大会を実施する方向で考えていくが、運営方法には検討が必要。欠席の理事にも確認した上で学会評議理事に報告する。

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 第 17 回神奈川県作業療法学会について

1 月 31 日まで演題募集中。23 日の段階で応募は 4 演題に留まっている。受付期間を延長する方向で調整中。

(1 2) 認知症対策委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告

(ア) 認知症の人と家族のつどい 2019 年 1 月 13 日(日) 4 名参加

(イ) OT 協会 HP に全士会活動報告掲載 (PDF にて DL)

(1 3) 地域包括ケアシステム推進委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告

(ア) 地域包括ケアシンポジウム (委員会主催)

2019 年 1 月 13 日 (日) 14:00~17:00 あーすぷらざ

参加者 : 53 名 (会員 19 名、県外 OT4 名、PT20 名、その他 10 名)

※1/22 の神奈川新聞に記事が掲載された。

(イ) 横浜市との事業検討会

2019 年 2 月 13 日 (水) 19:00~20:30

来年度の派遣回数を検討、今年度より増やしていく予定。

(1 2) 渉外報告

- 1) 47 委員会報告

(ア) 精神科作業療法推進委員会 (仮) の設立

(イ) モデル事業について 2018 年度で終了

(ウ) 地域包括ケアシステムについて 高齢者から他領域 (精神・就労) に発展中。

7. その他

(1) 監事より

総会から次の活動に移るときのタイムラグが目立つ。計画をきちっと立ててスムーズに動いてほしい。期末監査についても会計の方と各理事がしっかり連携をとる。

(2) 実習指導者の研修会について (会長)

県士会としては 1 回だけしか企画していない。もっと増やした方が良いか、検討する必要がある。⇒情報を収集する。

9. 次回理事会日時・場所

(1) 三役会開催日 2019 年 1 月 30 日 (水) 19:00~

(2) 理事会開催日 2019 年 2 月 14 日 (木) 19:00~

(3) 会場 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務局

以上 (文責 : 岩切・宮沢・金山)

議事録署名人

議長：	錠内 広之	印
理事：	吉本 雅一	印
監事：	田中 ゆかり	印